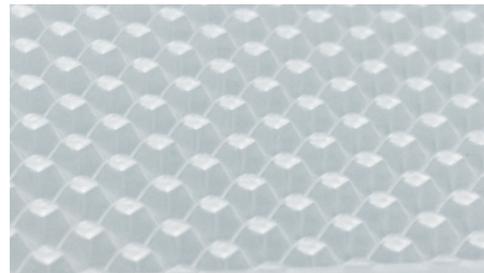


特徴

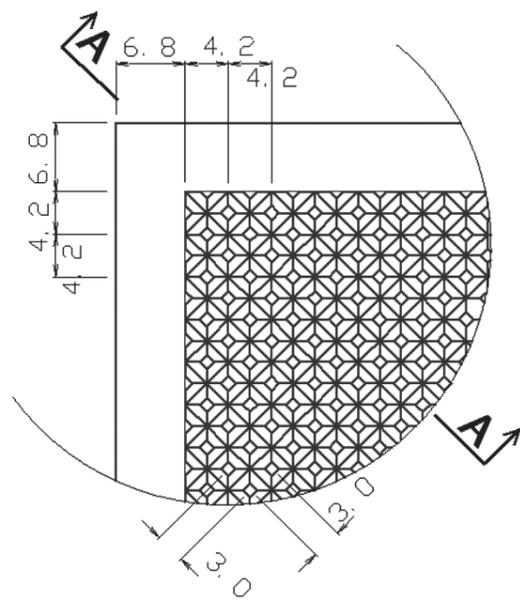
- ◎均質で必要な性能を有する打継目処理が可能となり、従来工法より安定した品質確保が図れます。
- ◎チッピング処理に比べ、ハツリによる騒音や粉塵の発生がなく、作業環境の改善及び周辺環境の保全が図れます。
- ◎凝結遅延剤処理に比べ、打継面の早期脱型の必要がなく、汚濁水の発生も抑えられ、周辺環境(河川・海・森林等)の保全に役立ちます。
- ◎本工法は型枠に貼付し脱型するだけなので、従来工法に必要とされる機械設備、防護装置や薬剤処理等が省けます。

KKシート40の製品形状

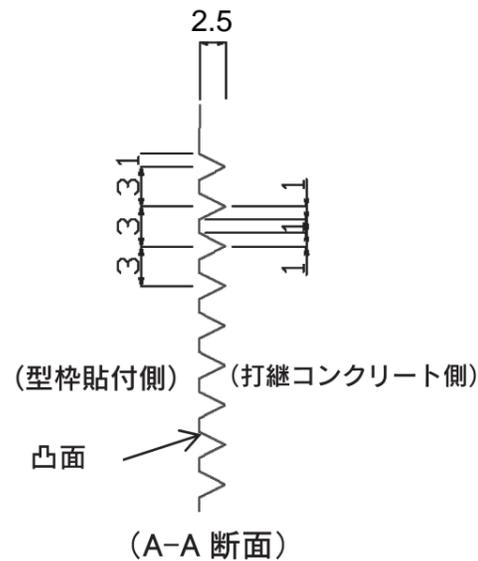
製品材料	ポリプロピレン樹脂
製品寸法	900mm×900mm
厚さ・色	厚さ0.4mm、乳白色
凸状突起高さ・配置間隔	高さ2.5mm、間隔3mm



KKシート40形状図



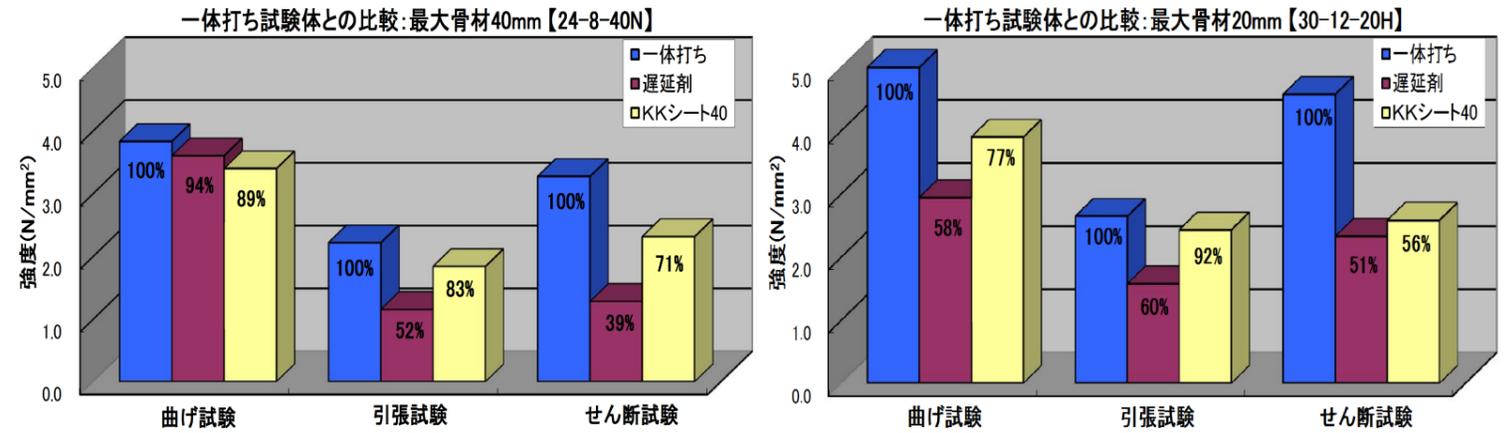
凸状突起の形状



打継目の性能

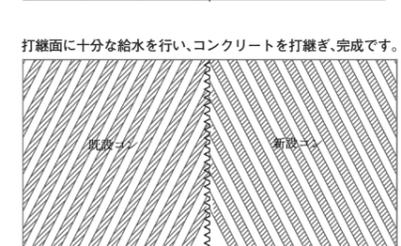
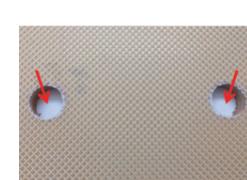
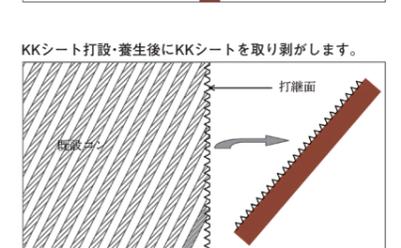
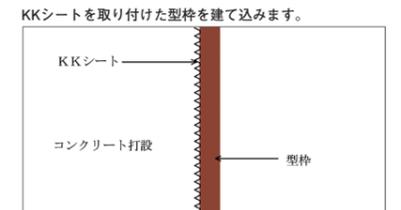
- ◎KKシート40による打継目の性能は、打継目のない一体打ちコンクリートに比べて、曲げ強度で89%、引張強度で83%、せん断強度で71%の強度特性を有しています(最大骨材40mmの場合)。
- ◎遅延剤処理による打継目に比べ、同等の強度特性が得られます。
- ◎水密性についても、遅延剤処理による打継目と同等の特性が得られます。
- ◎施工上の弱点となりやすい打継目において、安定かつ必要な性能の確保と耐久性の向上が図れます。

打継ぎ方法による各種強度比較



KKシート40の施工手順

- 1 KKシート40をタッカー等により型枠に貼りつけます。KKシート40を連続して貼りつける場合は突起部を30mmほど重ね合わせて施工します。
- 2 型枠への貼りつけは打継目の強度・耐久性を確保するため、鉄筋のかぶり部を含めて打継面の全面とします。
- 3 鉄筋やシース貫通孔がある場合、コンクリート打設時における孔部からのノロ漏れを防止するために専用工具による貫通孔を設ける等の対処をします。
- 4 コンクリートの打設、養生後、脱型時にKKシート40を全て取り剥がします。
- 5 打設面に十分な給水を行って新設コンクリートを打設し、打ち継ぎを完了します。



KKシート40の施工手順